

2025年度  
東北公益文科大学一般選抜(A日程)問題

日本史

受験番号								氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	----	--

受験上の注意

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いたり裏返したりしてはいけません。
- ② 机の上に置いてよいものは、受験票、筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り）、眼鏡、ハンカチ、薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、時計のみです。なお時計は計時機能だけのものに限りします。
- ③ 携帯電話及びスマートフォン等の電源は必ず切ってください。
- ④ 日本史の問題は全部で7ページです。
- ⑤ 解答用紙は1枚です。
- ⑥ 受験番号と氏名は、問題冊子および解答用紙のそれぞれ所定の欄に必ず記入してください。
- ⑦ 問題の解答時間は70分です。
- ⑧ 問題冊子の余白は下書きに用いてもかまいません。
- ⑨ 解答用紙の余白および裏面には何も書いてはいけません。
- ⑩ 問題に疑問のある場合は黙って手を挙げてください。ただし、問題の内容に関する質問については受け付けない場合があります。
- ⑪ 試験中に気分が悪くなった時やトイレに行きたくなった時は、手を挙げて係員の指示に従ってください。
- ⑫ 印刷に不鮮明な箇所がある場合は、黙って手を挙げてください。
- ⑬ 解答用紙は汚れても新しいものとは交換しません。そのまま提出してください。
- ⑭ 解答終了の合図で、筆記用具を置いてください。
- ⑮ 係員が答案の回収を終えるまで、席を立たないでください。
- ⑯ 問題冊子は試験終了後持ち帰ってください。

**第1問** 以下の文章を読み、問1～問9に答えなさい。

781年に光仁天皇が亡くなると、桓武天皇が即位した。桓武天皇は、<sup>(A)</sup> 仏教政治の弊害を改めた他、天皇権力の強化に努め、それらの目的を達するために<sup>(B)</sup> 遷都を行った。また、現在の<sup>(C)</sup> 東北地方への勢力拡大も行った。遷都と東北地方への勢力拡大の2つの大きな政策が国家財政や民衆への負担となったため、いずれの政策も805年に打ち切られることになった。

9世紀半ばから、藤原氏が天皇家との結びつきを強め、<sup>(D)</sup> 藤原冬嗣、藤原良房、藤原基経の活躍により、摂政と関白の地位を確固たるものにした。10世紀後半から11世紀頃には、摂政と関白が政権の最高位とされた。摂政と関白を出す家柄を、<sup>(ア)</sup> という。<sup>(ア)</sup> の内部では地位をめぐって争いが続いたが、10世紀末の<sup>(1)</sup> の時代には争いは沈静化した。<sup>(1)</sup> は、4人の娘を天皇や皇太子に嫁がせ、朝廷での権力を確かなものにした。

翻って、8世紀末から9世紀前半にかけて、日本の国際関係に変化が生じた。8世紀末には新羅からの使節の来日が途絶えたが、9世紀前半には新羅の商人が貿易を目的として来航するようになった。それに引き続き、9世紀後半には、唐の商人が来航するようになった。朝廷では、貿易の仕組みを整え、対応に努めた。一方で、菅原道真が廃止した<sup>(イ)</sup> の制度が再開されることはなかった。その後の中国国内の混乱もあり、後に成立した<sup>(ウ)</sup> とは正式な国交を開かなかった。しかしながら、<sup>(ウ)</sup> の商人は来航したので、貿易は行われていた。

9世紀後半から10世紀になると、<sup>(E)</sup> 国風文化が花開いた。平かなや片かなといったかな文字が発達したことが国風文化の特徴といえる。和歌の分野では、『古今和歌集』が編纂された。かな物語では、『竹取物語』や『伊勢物語』などに続いて、紫式部によって『<sup>(エ)</sup>』が生み出された。同時期、清少納言が随筆風に宮廷生活の体験を表した『枕草子』が執筆された。

この時代の仏教は、天台宗と真言宗が基本であったが、その一方で神仏習合も進んだ。また、新たな仏教宗派として、<sup>(F)</sup> 浄土教が流行した。社会では、<sup>(オ)</sup> 思想が広まったことも流行への追い風となった。浄土教を日本で初めに布教した人物としては、<sup>(2)</sup> が挙げられる。加えて、<sup>(G)</sup> 法華経などの経典の写しを容器におさめたものを地中に埋める<sup>(カ)</sup> も各地に広まった。

**問1** 文中の(1) および(2)に最も当てはまる人名を解答欄に書きなさい。

**問2** 文中の(ア)～(カ)に最も当てはまる地名や語句を解答欄に書きなさい。

**問3** 下線部(A)のような奈良時代後半の仏教政治を改めるため、桓武天皇や嵯峨天皇は新しい仏教を支持した。このことに関連し、以下の問いに答えなさい。

- (1) 天台宗を開いた人物の名前を解答欄に書きなさい。
- (2) 真言宗を開いた人物の名前を解答欄に書きなさい。

**問4** 下線部（B）に関連し、桓武天皇の時代に都とされた場所について、以下の①～③を年代順に並べ、記号を解答欄に書きなさい。

①平安京 ②平城京 ③長岡京

**問5** 下線部（C）の際に東北への勢力拡大の拠点となった、現在の宮城県に位置する城の名前を解答欄に書きなさい。

**問6** 下線部（D）の3人の人物、藤原冬嗣、藤原良房、藤原基経のうち、初めて関白となったのは誰か。1人選び、解答欄に名前を書きなさい。

**問7** 下線部（E）について、以下の問いに答えなさい。

（1）下線部（E）の担い手の中心はどのような階層の人々か。最も正しいものを以下の選択肢から1つ選んで解答欄に記号を書きなさい。

①貴族 ②豪族 ③農民 ④宗教者

（2）下線部（E）と大陸文化の関係として最も正しいものを以下の選択肢から1つ選びなさい。

①国風文化は、大陸文化の否定から発展した。

②国風文化は、大陸文化を大陸風にさらに発展させていった。

③国風文化は、大陸文化をふまえた上で、日本の風土に合うようにアレンジすることで発展した。

**問8** 下線部（F）の教えや実践の内容として最も正しいものを1つ選びなさい。

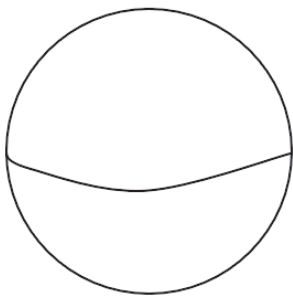
①念仏を唱え、来世において極楽に往生し、結果として苦しみがなくなることを目指す。

②怨霊や疫神をまつり、災厄から逃れることを目指す。

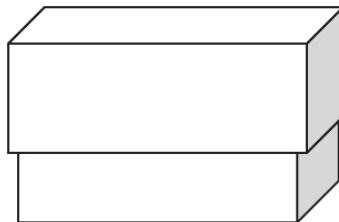
③仏教によって国家の安定をはかろうとする。

**問9** 下線部（G）の形として正しいものを1つ選びなさい。

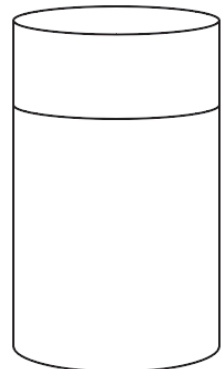
①



②



③



**第2問** 以下の文章を読み、問1～問7に答えなさい。

1467年から約11年にわたって続いた（ ア ）によって戦国時代を迎えたとされている。戦国時代は、（ イ ）と呼ばれる身分や伝統的権威などにとらわれない実力本位の考え方が主流となり、実力で領国を支配する戦国大名が生まれた。戦国大名は自らの領国を支配するために<sup>(甲)</sup> 分国法と呼ばれる規範を定めたが、その代表的なものとして、伊達氏による「塵芥集」や今川氏による「今川仮名目録」、<sup>(A)</sup> 武田氏による「甲州法度之次第」などを挙げることができる。

(乙)戦国大名は自らの領国を発展させるためにさまざまな政策を展開した。例えば、商業や交通の発展を図って関所の撤廃を進めたり、商品取引の拡大や商業の円滑化を図って城下町において（ ウ ）を命じたりした。

日本の戦国時代は、ヨーロッパにおけるいわゆる大航海時代とほぼ同じ時期に当たり、日本にもヨーロッパの人々が来航し、さまざまな影響を与えた。例えば、1543年に種子島に漂着した<sup>(B)</sup> ポルトガル人たちによって伝えられた（ エ ）は、その後、堺や根来、国友などで製造されて普及し、戦いを一変させたと言われている。また、1549年に鹿児島に来航した（ 1 ）によって伝えられたキリスト教はしだいに日本国内で信者を獲得し、大友義鎮（宗麟）や有馬晴信などの（ オ ）なども生まれた。1582年には、アレッサンドロ・ヴァリニャーニの勧めによって九州の（ オ ）たちがローマ教皇に伊藤マンショや千々石ミゲルらの（ カ ）を派遣している。

100年あまりにわたって続いた戦国時代は、1560年に桶狭間の戦いで（ 2 ）を破った織田信長が全国統一の事業を進め、織田信長が<sup>(C)</sup> 本能寺の変で倒れた後に事業を継承した羽柴（豊臣）秀吉によって全国統一が成し遂げられたことで終焉を迎えた。織田信長や羽柴（豊臣）秀吉によって全国の統一が進められた時代は、武士や豪商たちが中心となって豪華絢爛な桃山文化が花開いた。白鷺城の別称で知られ、1993年に世界遺産に登録された（ キ ）は、桃山文化を代表する城郭建築のひとつである。城郭建築の内部を飾る障壁画の制作には、「唐獅子図屏風」などの代表作で知られる（ 3 ）らの絵師たちが活躍した。また、（ 4 ）によって大成された茶道は侘茶とも呼ばれ、簡素な茶室や道具立の中に精神的な深さを味わうものであった。

**問1** （1）～（4）に最も当てはまる人名を解答欄に記入しなさい。

**問2** （ア）～（キ）に最も当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。

**問3** 下線部（A）に関連して、分国法の制定や治水事業などで優れた領国経営の手腕を示し、甲斐・信濃・駿河・遠江などを支配してその勢力を大きく拡大した人物の名前を答えなさい。

**問4** 下線部（B）に関連して、ポルトガルが支配し、日本との貿易の重要な拠点のひとつとなった中国の都市の名前を答えなさい。

問5 下線部（C）に関連して、織田信長の部将であったが本能寺の変を起こして織田信長を倒した人物の名前を答えなさい。

問6 下線部（甲）に関連して、次の文章は「今川仮名目録」の一節であるが、空欄に当てはまる語句として最も適切と思うものを選んで番号で答えなさい。なお、原文と読み下し文及び現代語訳の空欄は、どれも同じ語句が入る。

- ①虚言      ②借錢      ③訴訟      ④喧嘩      ⑤商売

（原文）

一 【      】に及輩不論理非両方共に可行死罪也。

（読み下し文）

一 【      】に及（およ）ぶ輩（やから）、理非（りひ）を論ぜず両方共に死罪に行うべきなり。

（現代語訳）

一 【      】をした者は、道理に合っているかどうかを問わずに両方とも死罪とするべきである。

問7 下線部（乙）に関連して、次の文章は織田信長が1569年に発した法令である。  
こうした法令を総称して何と呼ぶか、適切と思う語句を解答欄に記入しなさい。

(原文)

- 一 ころ 宣徳 焼け銭 下々の古銭 以一倍用之
- 一 ゑみやう 大かけ 割れ 磨り 以五増倍用之
- 一 うちひらめ なんきん 以十増倍用之

此外不可撰事

- 一 諸事のとりかはし精銭と増銭と半分宛足るへし  
此外は其者の挨拶にまかすへき事
- 一 悪銭買買かたく停止事

(読み下し文)

- 一 ころ、宣徳、焼け銭、下々の古銭 一倍をもってこれを用う
  - 一 ゑみやう、大かけ、割れ、磨り 五増倍をもってこれを用う
  - 一 うちひらめ、なんきん 十増倍をもってこれを用う
- このほかは撰（えら）ぶべからざること
- 一 諸事のとりかわし、精銭と増銭と半分ずつたるべし  
このほかはその者の挨拶（あいさつ）にまかすべき事
  - 一 悪銭買（う）り買い、かたく停止（ちょうじ）の事

(現代語訳)

- 一 ころ、宣徳、焼け銭、下々の古銭は、二枚で一文とする。
  - 一 ゑみやう、大かけ、割れ、磨りは、五枚で一文とする。
  - 一 うちひらめ、なんきんは十枚で一文とする。
- このほかは選別してはならない。
- 一 お金をやり取りするときは、質の良い銭と質の悪い銭を半分ずつにすること。  
本人同士が合意しているのであれば、質の良い銭と悪い銭の割合はその合意に任せるものとする。
  - 一 悪銭の売買は固く禁止する。

※「ころ」・「宣徳」・「焼け銭」・「下々の古銭」・「ゑみやう」・「大かけ」・「割れ」・「磨り」・「うちひらめ」・「なんきん」は、いずれも銭の種類や状態を指す言葉



**第3問** 以下の文章を読み、問1～問7に答えなさい。

2025年は太平洋戦争の敗戦から80年である。この間、日本が戦争の当事者になることはなかったが、それまでの日本は、他国との戦争や紛争に明け暮れていた。

明治政府は、1894年、清との間で日清戦争を起こして勝利し、( 1 ) を締結して( ア ) などの割譲を受けた。1904年にはロシアを相手に日露戦争を起こした。日本は大きな損害を出しながらも様々な戦闘に勝利し、( 2 ) を締結して( イ ) が日本に割譲された。この戦争によって、日本は朝鮮における優越的地位を確立し、やがて韓国併合を断行した。

1914年に第一次世界大戦が勃発すると、日本は、( a ) を理由にドイツに宣戦布告した。この戦争は1918年に休戦し1919年1月から講和会議が開催され、対独講和条約として( 3 ) が締結され、日本は( ウ ) の信託統治権を獲得した。

1931年、関東軍は満洲事変を起こし、日本は満洲国を独立させた。(A) 中国政府は満洲事変を日本の侵略と国際連盟に訴え、これを機に日本は(B) 国際連盟を脱退した。1937年に日中戦争が始まると戦線が拡大し、(C) 日本は南京に親日的な政府を樹立した。

1939年、第二次世界大戦が始まった。緒戦にドイツの勝利が続くと、1940年9月、日本は( エ ) に進駐した。この進駐はアメリカを刺激し、さらに1941年7月、日本が戦略物資の調達を求めて( オ ) に進駐すると、(D) アメリカは日本に対し最後通牒を発し、追い詰められた日本は、1941年12月、アメリカとイギリスに宣戦布告し、太平洋戦争が始まった。太平洋戦争は、1945年8月、日本の降伏を勧告した( 4 ) を日本が受け入れて終了した。

**問1** 文中の(1)～(4)に最も当てはまる条約や国際的文書の名称を解答欄に書きなさい。

**問2** 文中の(ア)～(オ)に最も当てはまる地域名を次の中から選び、記号で解答欄に書きなさい。

- ①赤道以北の南洋諸島    ②南部仏印    ③北部仏印    ④南樺太  
⑤シンガポール    ⑥台湾

**問3** 文中の(a)について、第一次世界大戦において、日本が宣戦布告の理由としたものは何か。以下の選択肢の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ①日英同盟    ②日米修好通商条約    ③日ソ不可侵条約    ④日独伊三国同盟

**問4** 下線部(A)について、中国の訴えを受けて国際連盟が派遣した調査団のことを何というか。解答欄に書きなさい。

問5 下線部 (B) について、国際連盟に関する説明で誤っているものを一つ選びなさい。

- ①国際連盟規約は、平和を実現するための制裁措置として、経済的制裁と軍事的制裁を定めていた。
- ②日本は、国際連盟の設立時、イギリス、フランス、イタリアとともに常任理事国であった。
- ③ドイツは、第一次世界大戦の敗戦国として、設立当初は、国際連盟への加盟が許されなかった。
- ④アメリカは、孤立主義的な上院の反対により国際連盟に参加しなかった。

問6 下線部 (C) について、南京に樹立された親日的政府の中心人物は誰か。以下の選択肢の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ①蒋介石    ②毛沢東    ③張学良    ④汪兆銘 (汪精衛)

問7 下線部 (D) について、日本に対するアメリカの最後通牒を何というか。解答欄に書きなさい。

問8 次の図画は日清戦争前夜の国際関係を描いた風刺画である。この図画が意図する内容を解答欄に書きなさい。なお、この図画の下方の魚には「CORÉE」と記されており「朝鮮」を意味する。

